

—最新の環境関連情報・技術の紹介—

主催：合成樹脂工業協会 環境・リサイクル研究部会

講演会のご案内

環境・リサイクル部会では、熱硬化性樹脂のリサイクルの現状や技術的知見を更に高めるため、リサイクル技術の情報公開、見学会の開催等を行ってきました。環境、リサイクル関係技術の一環として、今回は講演会を開催いたします。

第8回となる今回は最新の話題の講演会を企画いたしました。2名の講師をお招きし、最先端環境関連情報及び技術についてご紹介いただきます。なお今年度はコロナ感染防止の観点から Zoom を利用するオンライン配信にて実施させていただきます。外出することなく、お手元のパソコン等から聴講や質問が可能になりますので、コロナを気にされずご参加できます。

【講演会のご案内：聴講者の募集】

日時：11月9日（月）13:40～16:50

申込締切日

募集人員：先着 100名

参加料：無料（通信費はご負担となります）

申込み：添付の用紙にて（合成樹脂工業協会 事務局）E-mail：fujimoto@jtpia.jp

連絡先：合成樹脂工業協会 事務局 FAX：03-5298-8004 ☎：03-5298-8003

11月4日（水）

※お申込みいただいた E-mail アドレスに、講演会に参加するための Zoom 招待メールを数日前に配信させていただきます。（操作方法に関する説明は原則致しません）

プログラム（ZOOM のウェビナーによるリモート講演会）

講演1 < 13:40 ~ 15:10 >

「気候危機とコロナ危機～2つのCCにどう対応、どんな社会像・企業像を描くか～」

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 代表理事

後藤 敏彦 氏

2015年 国連のSDGsとパリ協定の採択で人類はパラダイムシフトの狼煙を挙げた。コロナ過はこのシフトを加速させる原動力になっている。背景にはグローバル化の弊害、例えば、気候危機やコロナがある。それを克服するどんな社会、企業像を目指すべきか。

休憩 < 15:10 ~ 15:20 >

講演2 < 15:20 ~ 16:50 >

「生分解性バイオマスプラスチックをめぐる課題と今後の展望」

東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 高分子材料学研究室

教授 岩田 忠久 氏

石油資源の枯渇、プラスチック焼却に伴う地球温暖化、海洋マイクロプラスチックに代表されるプラスチックごみ問題など、プラスチックと環境および人類との共存を様々な観点から考える必要があります。本講演では、再生可能なバイオマスから生産され、環境中の微生物により生分解される「生分解性バイオプラスチック」に関する当研究室の取り組みについて紹介します。また、当研究室で行っている環境分解評価、生分解開始スイッチ機能、生分解速度制御に関する研究についても合わせて紹介します。

以上